

【10月の活動予定】

近畿自然歩道・整備作業の第2回を実施します。

10月21日(土)10~12時に、近畿自然歩道の整備作業の第2回を実施します。参加希望者は10時に「六甲山自然保護センター」のレクチャールームに集合してください。

当日の午後1時から「六甲山魅力再発見市民セミナー・第43回」を開催しますので、引き続きご参加ください。

当日の作業予定は、近畿自然歩道の山道法面の笹刈りと枯れ枝の切り取りなどです。作業用の道具類は用意していますので、軽作業ができる服装でご参加ください。初心者の方や一般市民の方も歓迎ですので、詳細は事務局にお問い合わせください。



【これまでの活動報告】

9月16日に近畿自然歩道・整備作業に着手

9月16日10~12時で、近畿自然歩道の山道整備の作業に着手しました。「裏山の草刈りに行く」などと、ボランティア活動に参加した人は19名です。当日は林道の法面の根笹刈りと枯れ枝切りを実施しました。笹に覆われていたアリマウマノスズクサなども顔を出し、多様な植生の出現が期待できます。



山道の笹刈



ボランティア活動のメンバー

近畿自然歩道の山道整備の第1期実施計画として、3ヶ月で記念碑台下の近畿自然歩道入り口から六甲山ホテル手前のノースロード分岐点までの約1キロメートルの林道を整備します。安全を考えて笹刈りと枯れ枝切りなどの軽作業を行います。整備作業の指示は米村さんが行い、方針の統一も図りました。

なお、山道の改修と補修などの重作業は森林整備事務所にお願いました。9月下旬には、坂道の階段などの改修を実施され、近畿自然歩道の整備は着々と進んでいます。

阪神電鉄系の2社も協力団体に参画

対象地域の大半を所有している阪神電気鉄道(株)に協力をお願いしていましたが、8月19日にご了解をいただきました。六甲山で事業活動をしている子会社の六甲摩耶鉄道(株)と阪神総合レジャー(株)の2社が、「協力団体」として六甲山環境整備協議会に参加されることになりました。整備作業の進捗を見ながら、今後の活動を検討することになります。

有力な土地所有者との連携が可能になったので、本格的に構想の実施計画を作成する段階に入りました。今後は他の地権者とも連携を図ることを進めます。

「六甲山環境整備協議会」が正式発足

7月11日に、六甲山勤労市民センターで協議会の設立総会を開催しました。当日は協議会の「構成団体」や「協力団体」をはじめ、多くの関係者に出席していただきました。設立総会では会則や事業計画を承認し、その後の懇親会でも自然環境の整備を巡って意見交換を深めました。

協議会の「構成団体」は、六甲山自然保護センターを活用する会、兵庫県立人と自然の博物館、神戸市森林整備事務所、ブナを植える会、六甲山のアジサイを育てる会、自然案内人の会の6団体で発足しました。



設立総会の出席者

不甲 戸 飛江 戸部 2006年(平成18年)7月13日 木曜日

六甲山を歩きやすく 環境整備協議会が発足

自然を守る
自然環境を
守る会

六甲山の山道整備の協議会が発足し、多くの関係者に参加して、10月16日の発足式で正式に「環境整備協議会」が発足した。協議会の発足式には、六甲山自然保護センター、兵庫県立人と自然の博物館、神戸市森林整備事務所、ブナを植える会、六甲山のアジサイを育てる会、自然案内人の会の6団体が発足した。協議会の発足式には、六甲山自然保護センターの米村さんが挨拶し、協議会の発足に感謝の意を示した。協議会の発足式には、六甲山自然保護センターの米村さんが挨拶し、協議会の発足に感謝の意を示した。協議会の発足式には、六甲山自然保護センターの米村さんが挨拶し、協議会の発足に感謝の意を示した。

協議会の発足式には、六甲山自然保護センターの米村さんが挨拶し、協議会の発足に感謝の意を示した。協議会の発足式には、六甲山自然保護センターの米村さんが挨拶し、協議会の発足に感謝の意を示した。協議会の発足式には、六甲山自然保護センターの米村さんが挨拶し、協議会の発足に感謝の意を示した。

総会の様子はサンテレビや神戸新聞で報道され、六甲山の自然環境の保全と整備に携わる、市民団体と行政機関が連携するプラットフォームが正式にスタートしました。

「自然保護ボランティアファンド」の助成が発端

記念碑台周辺の自然環境の保全・整備の調査・作業を考えて、自然保護ボランティアファンドの助成金を申請したのが六甲山環境協議会を着想した発端になります。国立公園内の自然環境の保全活動などの目的で、1件あたり年間50万円が限度で、環境省の推薦、学識者の参加、関係者と協議会の設立が条件になります。

「六甲山自然保護センターを活用する会」が申請団体になり、「記念碑台周辺の探勝ゾーンの整備」構想をつくりました。ファンドから20万円の助成金が認定されたので、「六甲山環境整備協議会」の構想が具体化しました。

「六甲山自然保護センターを活用する会」では、これまで5年間にわたって、県立自然保護センターや記念碑台周辺の活用を目的に活動しています。月例の「六甲山魅力再発見市民セミナー」は42回を重ねています。開催日の午前中に実施している清掃・整備のボランティア活動も定着し、このたびの「六甲山環境整備協議会」へと発展しました。市民が主体になって、六甲山の自然環境を活かす試みが広がってきました。